

きんもくせい

❖やさしい香りのように、広がる安心と医療の輪❖

診療科から▶▶▶ 泌尿器科
前立腺がんは、早期発見がカギ！

病院だより
令和7年7月号

vol.
145



当院の手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を使用した前立腺がんの手術の様子



更なる機能強化で 地域医療を守り続けます

.....
新棟建設工事が本格的に始まりました



●前立腺がんとは

前立腺がんは、今や日本人男性で最も多く診断されているがんです。高齢化や食生活の欧米化、診断法の進歩（腫瘍マーカー…PSA検査の普及）などが前立腺がんの患者数増加の背景となっています。1990年代半ばから患者数は急増し、2015年には男性のがん罹患数で第1位となりました（図1）。特に70歳以上の高齢男性に多くみられ、今後も増加が予測されています。

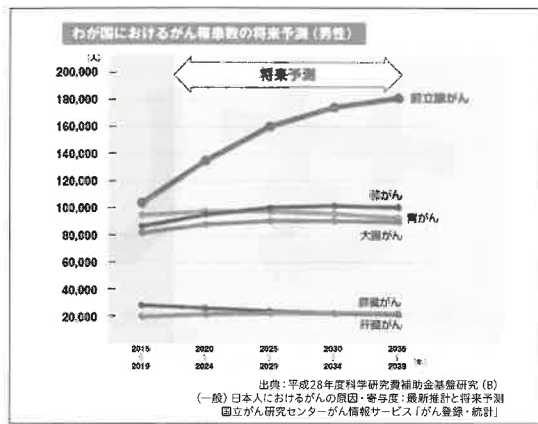


図1 男性のがん罹患数の将来予測

前立腺は

膀胱と陰茎の間にある男性臓器で、尿道を取り囲むように存在しています。（図2）がんがあっても初期にはほとんど症状が出現せんが、進行すると頻尿、排尿困難、血尿、あるいは骨への転移による腰痛や背中の痛みが現れることがあります。

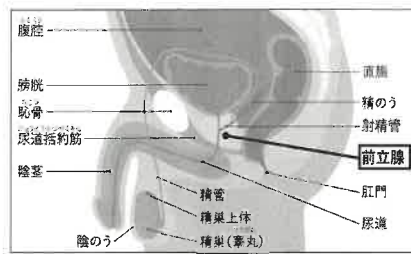


図2 前立腺の位置と周囲の臓器

前立腺がんの特徴は、進行が比較的ゆっくりであることです。初期の段階ではほとんど自覚症状がないため、健診や人間ドックなどで偶然発見されるケースがほとんどです。一部には進行が速く、転移しやすいタイプも存在するため、定期的な健診や人間ドックの受診をおすすめします。

また、前立腺がんは他のがんに比べて死亡率が低く、（図3）適切な時期に治療を受ければ長期的に良好な経過

を期待できます。このため、早期発見と適切な治療が重要です。

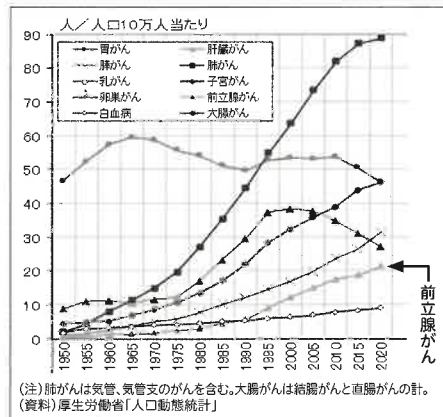


図3 主な部位別がん死亡率の推移（男性）

●前立腺がん検査と診断

前立腺がんの診断で最も基本となるのは、血液中のPSA（前立腺特異抗原）を測定する検査です。PSAは前立腺から分泌されるたんぱく質で、その数値が高い場合、がんの可能性が疑われます。一般的に4.0ng/mLを超えると要精密検査となりますが、年齢や前立腺肥大など、他の要因でも高くなる場合があります。

精密検査では、直腸診（触診）や超音波（エコー）検査で前立腺の大きさや硬

さ、形状を評価します。確定診断には、前立腺組織を採取する「針生検」を行います。当院では、腰椎麻酔で経直腸的超音波下に、約10か所程度の前立腺組織を採取する検査を、1泊2日の入院で行っています。

●前立腺がんの治療法

前立腺がんを診断された後は、CT、MRI、骨シンチグラフィーなどを用いて、がんの進行度（病期）を判定します。がんが前立腺内にとどまっている「早期がん」、前立腺周囲に広がった「局所進行がん」、骨などの臓器に転移した「進行がん」に分けられ、それぞれに応じて治療方針を立てていきます。

治療法には次のような選択肢があります。

①PSA監視療法（経過観察）…がんの悪性度が低く、進行のリスクが低い場合には、積極的な治療を行わず、定期的にPSA検査やMRI検査を行って経過を観察する方法です。

②手術療法…前立腺を全摘除する手術で、当院ではロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（ダ・ヴィンチ手術）を積極的にを行っています。



▲ダ・ヴィンチ手術の様子

2017年からこれまでに、300症例以上の手術を行っています。精密な操作により出血や合併症のリスクを抑え、術後の回復も早く、患者さまへの身体的負担が軽減されます。

③放射線治療…当院では、体外から前立腺に放射線を照射する「強度変調放射線治療（IMRT）」を実施しています。通常の放射線治療に比べて、放射線の強さを変えながら腫瘍へ集

中的に放射線を当てることができるため、精度が高く、周囲の正常組織へのダメージを少なくできることが特徴です。必要に応じて、近隣医療機関と連携して内部照射（小線源治療）を行うこともあります。

④ホルモン療法…前立腺がんは男性ホルモンによって成長するため、その分泌を抑えることでがんの進行を抑えます。高齢者や進行がんにも適した治療法です。

⑤化学療法（抗がん剤）…ホルモン療法で効果がみられない場合や、転移を伴うケースでは抗がん剤治療が選択されることもあります。

●早期発見のために

近年では、PSA検査をきっかけに来院される方が増えています。PSA検査は血液検査でわかる簡便な検査です。50歳以上の男性や、家族に前立腺がんの既往がある方は、ぜひ一度PSA検査を受けてみてください。お住まいの市町のがん検診や人間ドックでも実施されている場合があります。前立腺がんは早期に発見すれば、根治も十分に可能ながんです。あなたとあなたの大切な人のために、人間ドックや健診の

定期的な受診をおすすめします。

当院の人間ドック・健診センターで行っているがん検診については、病院ホームページをご確認ください。

●おわりに

当院では、前立腺がんの診療において、初期診断から治療、術後のフォローアップまで一貫した医療を提供しています。また、多職種が連携し、患者さまお一人おひとりに合った治療を行うことはもちろん、がん相談支援センターでは、病気のことでだけでなく、患者さまやご家族の不安、悩みなどについてのサポートも行っています。今後も地域の基幹病院として、前立腺がんを含む泌尿器疾患の診療に積極的に取り組み、地域医療に貢献してまいります。

人間ドック・健診センター
ホームページへ

人間ドックや前立腺検査について
こちらから



TOPICS

新棟建設工事が本格的に始まりました

一敷地内道路の通行制限変更について一

新棟建設工事の実施に伴う敷地内道路の通行制限を工事完了予定の令和9年3月まで変更します。

- 右図の①の病院敷地西側（池がある側）の入口からは北側一般駐車場へ進入できません。北側一般駐車場をご利用の場合は、②の病院敷地北側の入口から進入してください。
- 仮設道路及び①の入口から仮設道路までは職員専用道路となりますので、通行はご遠慮ください。

皆さまにはご不便・ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。
病院整備計画の概要や新棟建設工事の進捗状況については、ホームページ等に掲載していきます。

▶病院整備計画
詳しくはこちら





掛川市・袋井市病院企業団立
中東遠総合医療センター
https://www.chutoen-hp.shizuoka.jp/

〒436-8555
掛川市富浦ヶ池1番地の1
TEL 0537-21-5555



RECRUIT

詳細はこちら



令和8年4月採用職員募集

地域に
貢献

研修
充実

安定

子育て
応援

募集中の職種 (正規職員)

職種	試験日	受付期間	採用予定日
臨床工学技士	令和7年8月14日(木)	令和7年5月1日(木)～7月25日(金)	令和8年4月1日 ※経験者は応相談
助産師・看護師 (経験者)	※随時募集しています。(試験日については個別にご連絡します。)		応相談

会計年度任用職員(非常勤職員) ※随時募集しています。

看護師、メディカルエイド、事務職員

【採用担当者から】

当院では、質の高い医療を提供するため、医療のプロフェッショナルとして地域医療を支え、共に高みを目指す仲間を募集しています。地域に貢献する一歩を一緒に始めませんか？



第46回医療市民講座 -がん講習会-のご案内

日時 令和7年8月2日(土)
午前10時～正午

会場 袋井市月見の里学遊館
うさぎホール(袋井市上山梨4-3-7)

内容 講演①「がん予防の第一歩!大腸カメラで守るあなたの健康」
講師:池上脩二(消化器内科部長)
講演②「当院でできる内視鏡外科手術 PartIII」
講師:河合 徹(副医務局長 兼 外科診療部長)

◇当日はリハビリテーション室スタッフによる
リフレッシュ体操もあります。

申込み 令和7年6月16(月)～8月1日(金)午後5時まで
申込み専用フォームまたは問合せ先に電話

問合せ先 経営戦略室 TEL:0537-21-5555(代表)



がんとともに生きる
～消化器疾患に焦点を当てて～

申込みはこちら



がんサロン「めくもり」 イベントのご案内

日時 令和7年7月19日(土)
午前10時～12時30分

会場 当院敷地内薬局2階会議室

内容 「病院の人達に聞いてみよう
～医療者とのトークセッション」

参加費 無料

対象者 がん患者さま・ご家族(他院通院中の方も可)

申込み 不要・直接会場へ

問合せ先 がん相談支援センター
0537-28-8159(直通)
※平日午前8時15分～午後4時

詳細はこちら



2025

5月

診療実績

1日あたりの患者数

入院	385人
外来	1,143人
紹介率	87.0%
逆紹介率	104.6%
病床利用率	77.0%
平均在院日数	9.5日
手術件数	549件
救命救急センター受診者数	1,361人
救急搬送件数	505件



外来担当医表こちらから▶

